



まんだらげ

Vol. **58**
2021 AUTUMN



申柿の里 (かつらぎ町)

Contents

特集 …… バイオメディカルサイエンスセンター開設

NEWS …… 無料 Wi-Fi が利用可能に
隣がんドックのご案内

Topics …… 透析情報カード導入
青洲基金感謝状贈呈式 / 青洲基金について

Information …… COPA 症候群 (遺伝性炎症性疾患) の病態を反映
する新規モデルマウスを樹立
Student Doctor 称号授与式

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切に、十分な説明と同意のもとに、安全で心こもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

バイオメディカルサイエンス

バイオメディカルサイエンスセンターとは

令和3年4月に附属病院の隣に設立した次世代医療研究センター（センター長：外科学第2講座教授 山上裕機）3階に、バイオメディカルサイエンスセンターを開設しました。当センターではバイオバンク

事業と解析受託事業の2つの事業を行い、がんや難治性疾患などの研究を行うための基盤施設として、医学部・薬学部共同による創薬研究や企業との共同研究を推進します。

【バイオメディカルサイエンスセンター人員構成】

センター長・内科学第3講座教授		山本 信之
副センター長・人体病理学講座教授		村田 晋一
バイオマーカー解析部門	部門長・病院教授	洪 泰浩
	副部門長・薬学部講師	山下 琢矢
	助教	小柳 潤
	事業担当補助員	1名
検体管理部門	部門長・人体病理学講座准教授	小島 史好
	医療技術職員・人体病理学講座又は中央検査部兼務	
情報管理部門	部門長・情報基盤センター副センター長	山本 景一
	特別研究員	1名
事 務		1名

各事業について

・バイオバンク事業

がんを含む難治性疾患や希少疾患の予防・診断・治療法の開発には血液や組織などの生体試料は欠かせないものです。患者さんが検査のために採血する際に通常より少し余分に採らせていただいた血液や手術などで摘出し診療後に残った組織と、付随する診療情報をデータベースとして収集・保管し、将来の医学研究に活用します。

なお、診療情報や遺伝情報は厳格な匿名化を行い、患者さんの個人情報には厳重に保護します。



生体試料を保管するバイオバンク

・解析受託事業

解析部門では、現在の医学研究に欠かせないゲノム解析や遺伝子発現解析を行う設備を有しています。その設備を活用し、学内における解析を受託することにより、大学全体の研究の活性化に寄与します。



ゲノム解析や
遺伝子発現解析を
行う機器

センター開設

今後の研究

バイオバンクに収集・保管される検体を含め、患者さんからご提供いただいた検体を活用した研究を中心に行います。特にがんや難病の原因となる遺伝子における変化について、バイオメディカルサイエンスセンター解析部門に整備した次世代シーケンサー（高速でのゲノム診断が可能な機器）

を用いて測定を行います。得られたデータを患者さんの医療情報と合わせて解析することで、どのような特徴を持った患者さんにおいて治療がよく効くのか、治療効果が十分でない原因は何なのかを明らかにし、新しい診断法や治療の開発を目指します。

患者さんへのお願い

本学では附属病院を受診された患者さんを対象に、手術や検査で採取した血液や組織などの生体試料及び受診された際の治療や検査に関する記録などを記載した診療情報を提供していただけるよう患者さん、ご家族にお願いしています。

生体試料の提供へのご協力については、患者さんの自由な意思で決めていただけます。ご協力いただけない場合や協力を途中で取り下げる場合もその後の診療において不利益を受けることは一切ありません。また、患者さんの診療情報や遺伝情報は個人が特定されないように匿名化を行うと

もに、個人情報として厳重に取り扱います。ご不明な点がありましたら担当医師又はバイオメディカルサイエンスセンター（073-447-2300（内線5583））までお問い合わせください。

ご提供いただいた生体試料や診療情報は病気の予防・診断・治療法等の研究に用いられ、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。



洪 泰浩
バイオマーカー
解析部門長

バイオメディカルサイエンスセンターの洪 泰浩（こう やすひろ）と申します。近年の医療技術の進歩により、正確な診断に基づく有効な治療を患者さんに届けることが可能となってきました。一昔前には不治の病と言われていたような病気においても、有効な治療が開発されています。今後さらに多くの患者さんに良い医療を届けるためには、病気の原因解明や治療法の開発に向けた絶え間ない医学研究が欠かせません。

和歌山県立医科大学ではこの度バイオメディカルサイエンスセンターを設け、患者さんからご提供いただいた貴重な検体を活用した研究をより一層進めていきます。医療の発展につながる成果を和歌山から発信していく所存ですので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

10月1日から無料Wi-Fiが利用できるようになりました!!

当院では、院内一部エリアにおいて、無料 Wi-Fi の整備を行い、令和3年10月1日から利用を開始しています。利用可能なエリア・時間帯及び利用方法は下記のとおりとなっています。なお、ご利用にあたっては、下記の利用規約に同意していただく必要がありますので、併せてご確認をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、入院患者さんへの面会を原則禁止とさせていただいておりますが、入院患者さんがご家族等と触れあう機会として、ぜひ無料 Wi-Fi をご活用ください。

■ 利用可能エリア・時間

利用場所	利用時間	備 考
2階総合受付付近	7:00~19:00	平日のみ
各階デイルーム等	7:00~21:00	-


■ 利用方法

無料 Wi-Fi をご利用いただくにあたっては、SSID 及びパスワードが必要となります。

SSID : waidai-hospital-free-wifi パスワード : waidai811

※利用可能エリアにも
掲示しています。

接続方法 ※操作はスマートフォンの機種により多少異なります。

- ① 「設定」アイコンを押す → (「接続」を選択) → 「Wi-Fi」スイッチを右にスライド (又は ON)
- ② 表示される SSID (ネットワークを選択) から「waidai-hospital-free-wifi」を選択
- ③ パスワード「waidai811」を入力して「接続」を押す
- ④ 画面の上部に  マークが表示されると設定完了

■ 利用規約について

【利用規約 (抜粋)】 ※全文は当院ホームページに掲載しています。

- 病院は、スマホ、タブレット等、機器の貸し出しは一切行いません。
- 病院は、設定等、技術的な質問についての問い合わせを一切受け付けません。
- 病院は、無料 Wi-Fi について、常に安定した接続環境を保障しません。
- 無料 Wi-Fi を利用するにあたり、悪意のあるサイトまたは第三者より ID やパスワード、クレジット情報などを窃取される危険があるため、特に重要な通信については、利用者の判断のもと利用してください。
- 病院は、機器等の障害、院内工事等により、無料 Wi-Fi の運用を予告なく中止することがあります。
- 病院は、SSID とパスワードを予告なく変更する場合があります。
- 病院は、無料 Wi-Fi の運用の中止により、利用者又は第三者が被った損害について、その責を一切負いません。
- 病院は、無料 Wi-Fi サービスの利用に関連して発生した利用者の損害について、その責を一切負いません。



※利用可能エリアは、
上記のポスターが目印
です。

膵がんドックのご案内

当院膵がんセンターでは、膵がんの早期発見・治療を目指し、2021年2月から膵がんドックを開設しています。

■プランのご案内

膵がんドックでは、下記の3つのプランを用意しています。ご希望にあわせて選択してください。なお、費用はすべて自費になります。

プラン名	内 容	検査内容	料金 (税込) ※
プラチナプラン (毎週火・木曜日実施)	胆・肝・膵すべて診る最も充実したプランです。超音波内視鏡検査（胃カメラ）も行うので、胃の状態も診ることができます。	・血液検査 ・腹部エコー検査 ・MRI 検査 ・超音波内視鏡検査	137,060 円
ゴールドプラン (毎週月・金曜日実施)	胆・膵を診るプランです。超音波内視鏡検査（胃カメラ）も行うので、胃の状態も診ることができます。	・血液検査 ・MRI 検査 ・超音波内視鏡検査	129,580 円
シルバープラン (毎週水曜日実施)	精密腹部エコー（半座位法やミルクティーなどを用いた胃充満法を追加実施）で胆・肝・膵を診るプランです。検査が比較的短時間で済み、超音波内視鏡検査（胃カメラ）がないので体への負担が少なく、超音波内視鏡検査に抵抗がある方向への検査です。	・血液検査 ・MRI 検査 ・膵精密エコー検査	116,600 円

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ドック前PCR検査を実施しています。上記はPCR検査費用を含んだ料金です。

■検査について

(1) 血液検査

膵酵素、腫瘍マーカーの数値を参考に膵がんの疑いがないか検査します。

(2) MRI (MRCP) 検査

強い磁場を有するトンネルの中に入り、胆汁や膵液などの液体の部分だけを抜き出して体の中を画像化して病気を発見します。放射線を使わないため、比較的体への負担が少ない検査です（検査時間約 30 分）。

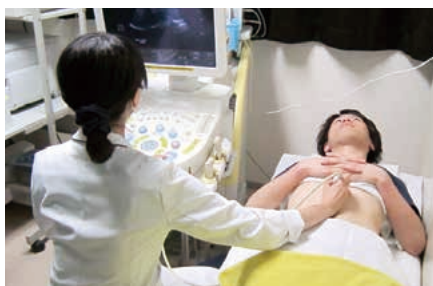
(3) 腹部エコー検査 (US)

人間に聞こえないほどの高い周波数の音（超音波）

を体の外から当て、反射した音から目的の部位の画像を作ります。超音波は人体に無害で、痛みもありません。体形による死角が生じることはあり得ますが、身体への負担が小さい検査です（検査時間 20 分）。

(4) 超音波内視鏡検査 (EUS)

超音波内視鏡検査 (EUS) は超音波 (エコー) 装置が先端についた内視鏡を消化管から挿入して胆道や膵臓などの観察を行う検査です。消化管の内側から検査するため、通常のエコー検査に比べてより詳細に病変を観察することができます（検査時間約 30 分）。



■申し込みについて

膵がんドックはすべて予約制で、毎日（平日のみ）1名の受付となっています。プランを選んでいただいた上で、下記電話予約センターにお電話いただき、予約してください。

ご予約電話番号 ☎ 073-441-0489

【受付時間】 8:30 ~ 16:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

透析情報カードを導入しています

近年、台風や記録的豪雨等による大規模災害が各地で発生しています。本県も例外ではなく、平成23年の台風12号による記録的豪雨では、紀伊半島を中心に甚大な被害が出ました。道路の寸断や電話回線不通により透析患者さんの孤立や安否確認困難という問題が生じ、また長期間の断水のため透析ができないという事態に陥りました。

透析は命を繋げるために欠かさず続けていく必要があります。かかりつけの透析施設の被害状況によっては別の施設などで臨時に透析を行う可能性が生じます。そういった災害時の透析患者さんにとって、自分の透析条件を携帯し、万が一の際に他施設にお

いても日頃と同条件で透析を受けられるということはとても大切です。本年7月に開設した当院の外来透析センターにおいては、透析毎に新しく自動更新される透析情報カードを、県内で初めて導入しており、地域の災害医療の一助になるものとして今後期待されています。

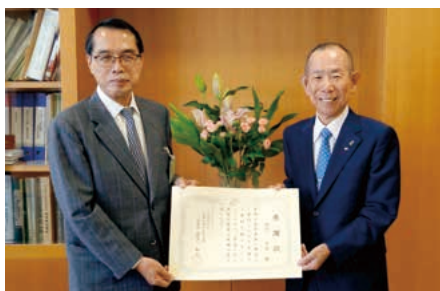


青洲基金感謝状贈呈式

この度、本学が設置する青洲基金に、医療法人千徳会桜ヶ丘病院名誉院長の成川守彦様及び医療法人輝照会理事長の末吉建治様から多額のご寄附をいただきました。そのご厚意に感謝の意を表して、令和3年6月21日及び令和3年8月26日に、本学の理事長室において、宮下和久理事長から感謝状の贈

呈を行いました。

いただいた寄附金はそれぞれのご意向に沿い、附属病院の環境整備事業及び教育研究の向上事業に有効に活用させていただきます。本当にありがとうございました。



宮下和久理事長（左）と成川守彦様



宮下和久理事長（左）と末吉建治様

青洲基金について

本学では、医療系総合大学としての一層の発展を目指し、教育研究の向上事業、附属病院の環境整備事業及び修学支援基金事業等に活用させていただくため、基金を設置しています。振込依頼書又

はインターネットによるお申し込みを受け付けております。詳細は下記ホームページをご確認ください。

本基金の趣旨をご理解いただき、格段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公立大学法人和歌山県立医科大学 事務局総務課 基金担当

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811 番地 1

TEL 073-441-0710 FAX 073-441-0713 E-mail kikin@wakayama-med.ac.jp

青洲基金ホームページ <https://www.wakayama-med.ac.jp/usermenu/seishu-kikin/>

COPA症候群(遺伝性炎症性疾患)の病態を反映する新規モデルマウスを樹立

間質性肺炎や関節炎などを引き起こす難治性の遺伝性炎症疾患「COPA 症候群」は、細胞内におけるタンパク質の輸送を担う COP α を合成する COPA 遺伝子のバリエーション(遺伝子の違い)が原因であることが分かっていますが、その詳しい病態については明らかになっておらず、治療法も確立していません。

このような中、本学医学部先端医学研究所生体調節機構研究部の改正恒康教授らの研究グループは、京都大学大学院医学研究科、聖隷浜松病院等との共同研究において、患者から発見した新規の COPA 遺伝子バリエーションを導入したマウスを作成し、その解析を行いました。その結果、このマウスでは COPA 症候群の患者と類似した間質性肺炎の所見が認められました。また、COPA 症候群の患者の末梢血細胞では、I 型インターフェロンによって誘導される遺伝子群の発現が亢進することも知られていますが、このマウスの脾臓でも同様の状態が確認されました。このことから、作成したマウスが COPA 症候群モデルマウスとして有用であることが明らかになりました。

さらに、研究グループはウイルスやがん細胞由来の核酸の刺激に反応して I 型インターフェロンの産生を誘導する「STING」という機能分子に着目しました。I 型インターフェロンはウイルスやがん細胞に対する防御機能として働く一方、過剰に産生すると炎症を引き起こし、臓器などにダメージを与えます。この STING の機能や細胞内の所在を調べたところ、



記者発表する大学院生の加藤喬さん



記者の質問に答える改正恒康教授(右)

患者由来の遺伝子バリエーションを持つマウスの樹状細胞において、STING は核酸の刺激を受けた後、細胞内のゴルジ体に過剰に蓄積し、I 型インターフェロンの産生を強力に促進することが分かりました。

今回樹立したマウスをさらに解析することにより、今後、COPA 症候群や間質性肺炎の病態メカニズムの解明、新たな治療法の開発が進むことが期待されます。

Student Doctor 称号授与式

医学部新5年生に対する Student Doctor 称号授与式を6月28日に本学講堂で執り行いました。Student Doctor とは、全国の医学部が共通の問題を用いて行う医学全般の知識・実技の試験に合格し、臨床実習を行うことを許された医学部生のことです。全国医学部長病院長会議が認定するものです。臨床実習に先立って、医療人としての心構えを再認識し、決意を新たにすることを目的として開催しています。

称号授与式では、宮下和久理事長が式辞を、中尾直之病院長が訓辞を述べ、臨床実習に出る学生を激励しました。例年は壇上で全員に白衣と認定証の授与を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全員予め白衣を着用し

て式典に出席し、代表者が壇上で認定証を受け取りました。最後に学生代表が臨床実習に向け、決意表明を行いました。現在、学生たちは各診療科において一生懸命知識や技術の習得に励んでいます。



予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「予約制」とさせていただいております。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などから FAX でお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」にて患者支援センターに FAX 送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関に FAX 返信いたします。
- ③ 予約当日は、予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

患者支援
センター

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月・火・水・金 / 9:00～19:00
木 / 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ご本人からのご予約

- ① かかりつけの医療機関などで紹介状をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「当院予約センター」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)をご持参のうえ、外来受付に直接お越しください。

電話予約
センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 / 8:30 ～ 16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく 9:30 ～ 17:00 まで院内の予約窓口も開設しています。

マスク着用及び検温へのご協力をお願い

当院では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来院者にはマスクの着用をお願いしております。

また、正面玄関及び東玄関において午前7時から午後7時まで、サーモグラフィによる検温を実施しております。カメラの前を通過していただくだけで体表面の温度を計測することができます。

患者さんに安心して受診いただけるよう努めておりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。